



令和4年度当初予算のポイント

令和4年2月
徳島市



目次

予算編成の基本方針	1
予算規模	2
当初予算のポイント	3
令和4年度当初予算の重点施策	4
令和4年度当初予算および令和3年度3月補正予算における 新型コロナウイルス感染症対策関連予算	5
一般会計「歳入予算」の概要	6
目的別に見る一般会計「歳出予算」の概要	7
目的別に見る一般会計「歳出予算」の主な増減理由	8
性質別に見る一般会計「歳出予算」の概要	9
行財政改革に向けた取組	10
財政調整基金等の取崩し額の推移	11
当初予算編成時における年度末基金残高の推移	12
当初予算編成時における地方債発行額の推移	13
当初予算編成時における地方債年度末残高の推移	14



予算編成の基本方針

令和4年度 予算編成テーマ

ポストコロナにおける持続的な成長を実現する、とくしま未来創造予算

優先的に取り組む3つのポイント

①ポストコロナを見据え、市民生活への支援や地域経済の発展に資する取組

- ▶ 感染症により影響を受けている市民への生活支援や、地域経済活性化の支援
- ▶ ポストコロナを見据えた持続的な成長につながる効果的な取組

②デジタル技術の積極的な活用による課題解決への取組

- ▶ 感染拡大により顕在化した行政サービスのデジタル化の遅れ等の諸課題への対応

③多様性を認め合い、だれもが活躍できるまちづくりへの取組

- ▶ 「ダイバーシティ(多様性)」と「イノベーション(創造性)」をキーコンセプトとし、人と人がつながり新たな挑戦や投資が継続的に生み出されるまちづくりを推進するための取組

『徳島市総合計画2021』の推進

「わくわく実感！水都とくしま」の実現

『徳島市行財政改革推進プラン2021』の推進

効果的で効率的な行財政運営と健全な行財政基盤の確立

令和4年度当初予算



予算規模

▷ 会計別予算規模

○ 一般会計 **1,063 億 1,000 万円**

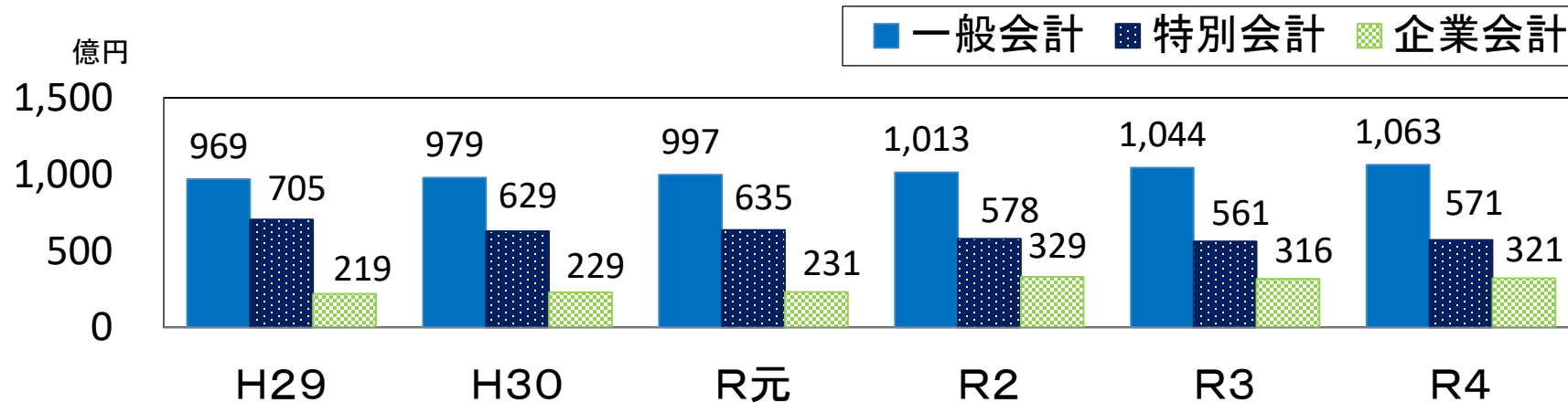
※ 対前年度比 18 億 9,000 万円 +1.8 %

○ 特別会計 **570 億 7,277 万円** (注) 職員給与等支払特別会計は除く

※ 対前年度比 9 億 5,106 万円 +1.7 %

○ 企業会計 **321 億 168 万円**

※ 対前年度比 5 億 4,118 万円 +1.7 %





当初予算のポイント

市の持続可能な成長に繋がる取組への重点化

- 「ポストコロナにおける持続的な成長を実現する、とくしま未来創造予算」をテーマに、本市独自の課題解決に向けた「中心市街地活性化対策」、「子ども・子育て支援策」、行政サービスの「デジタル化の推進」など、**ポストコロナを見据えた持続的な成長につながる施策に重点的に予算を措置。**

新型コロナウイルス感染症対策の実施

- 感染拡大防止策や、感染症により影響を受ける市民への生活支援、地域経済活性化のための支援に係る取組を実施するため、ワクチン接種事業、学校現場等における感染拡大防止用物品の購入、地域事業者への支援など、令和4年度当初予算と令和3年度3月補正予算を合わせて**新型コロナウイルス感染症対策関連予算として、約17億円を計上。**

持続可能な行財政運営の推進

- 持続可能な行政運営の確立のため、令和4年度当初予算の歳入・歳出について、行財政改革に向けた以下の取組等を実施。
 - ・（歳入）多様な財源の確保のため、ふるさと納税の活用を引き続き推進するほか、交付税措置50%以上の地方債を積極的に活用。
 - ・（歳出）事業の見直し、適正化を推進した結果、**財政調整基金等の取崩しについて平成元年以降、最小の6億円への抑制及び地方債発行額の減を達成。**

新ホール建設資金の有効活用

- 新ホール整備について、**県市協調により県立ホールとして整備することで、将来的な市の財政負担が抑制されたことから、芸術文化施設建設基金を廃止し、その財源を新ホール整備関連事業をはじめ、市民福祉基金・子ども未来基金（創設）への積立てや、社会福祉関連事業等に活用。**

各種計画の推進

- その他、「総合計画2021」に掲げる「将来像」を実現するための施策や「行財政改革推進プラン2021」に掲げられた取組みを引き続き推進。



令和4年度当初予算の重点施策

令和4年度当初予算は、「ポストコロナにおける持続的な成長を実現する、とくしま未来創造予算」をテーマとして、次の4項目を重点分野として編成しました。

1 子ども・子育て支援の推進

27.6億円

○ 認定こども園整備事業

令和7年4月に富田中学校区に市立認定こども園1園を整備するための設計費 【3,709万円】

○ 教育・保育施設等整備費補助

私立認定こども園1園の整備に対する助成 【3億1,517万円】

○ 教育・保育施設等運営費補助

保育士の離職防止や負担軽減を目的とした各種助成 【6,993万円】

○ 保育人材確保対策事業

保育の質向上や人材確保を目的とした出前講座開催や各種研修支援 【505万円】

○ UIターン保育士応援事業

県外から本市の保育施設に就職した保育士等に一時金を支給 【1,000万円】

○ 医療的ケア児受入れ体制整備事業《新》

保育施設において医療的ケア児を受け入れるため、訪問看護に必要な経費を助成 【1,552万円】

○ 子ども未来基金積立金《新》

安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、「子ども未来基金」を創設 【5億50万円】

○ 徳島駅前子育て機能拡充事業《新》

駅前の子育て安心ステーションについて、ソフト・ハード両面から機能強化を図る 【1,068万円】

ほか

2 ポストコロナを見据えた、まちのにぎわい創出の推進

6.6億円

○ 市民活力開発センター機能強化事業《新》

公・民・学が連携し、市民と一緒に地域課題を解決するため、プラットフォームを構築。また、活動拠点を利便性の高いアミコビルに移転 【1,257万円】

○ ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業《拡》

両国・ベイエリア間の新ルートの運航やネットワーク構想の見直しにより、人の流れを生み出し、にぎわい創出を図る 【1,812万円】

○ リノベーションまちづくり推進事業《拡》

公民連携のもと、遊休不動産や公共空間を活用した新たな取組によるエリア価値の向上等を図る 【1,076万円】

○ 新町西地区市街地再開発事業

新町西地区市街地再開発組合が行う新たな再開発事業に対し補助金の交付等を実施 【2億2,638万円】

○ 阿波おどり運営費補助

徳島市阿波おどりの開催を支援するため、主催者に対し、運営に係る経費を補助 【2,000万円】

○ とくしま動物園リニューアル事業《拡》

サバンナエリアの魅力づくりのため、キリン舎の増築工事及び園内の環境整備を行う 【1億6,449万円】

ほか

3 デジタル化・スマート化の推進

6.7億円

○ ICT環境の整備

ICT支援員を活用することにより、教員のICT活用指導力の向上を図るなど、学習環境を充実し子どもの学びを支える 【2億8,557万円】

○ 防災行政無線移動系デジタル化整備事業《新》

デジタル防災行政無線の移行に向け、設計業務を実施 【2,000万円】

○ スマート農業推進支援事業

スマート農業推進のため、意見交換会の開催や、機器導入の支援を実施 【89万円】

ほか

4 ダイバーシティ・SDGsの推進

2.1億円

○ 女性活躍推進啓発事業《新》

各種団体と連携し、男女共同参画の普及啓発を図る 【88万円】

○ 防災サポーター登録育成事業《新》

防災士対象の育成制度を発足し、多様性に配慮した災害対応及びSNS等を活用した広報活動の実施 【60万円】

○ ダイバーシティ経営企業応援事業《拡》

ワークライフバランスの推進や職場環境改善、多様な人材の雇用に取り組む企業に対して支援する 【150万円】

○ 脱炭素化事業(水道事業)

効率的な水運用・省エネルギー化の実現のため、新たな制御所を整備 【1億円】

○ 持続可能な環境未来都市形成事業《新》

脱炭素に向けた取組みを推進するため、太陽光発電設備や蓄電システム等の設置に対する補助等を実施 【2,070万円】

ほか



令和4年度当初予算および令和3年度3月補正予算における新型コロナウイルス感染症対策関連予算

感染拡大防止策や、感染症により影響を受ける市民への生活支援、地域経済活性化のための支援を行うため、令和4年度当初予算と令和3年度3月補正予算を合わせて**新型コロナウイルス感染症対策関連予算として、約17億円を計上**

令和4年度当初予算

○ 新型コロナウイルスワクチン接種事業

ワクチン接種体制の確保・接種の実施

【5億7,834万円】

○ コロナ危機突破プロジェクト創造支援事業《拡》

WITHコロナ時代におけるデジタル技術等を活用した新しい取り組みへの助成

【5,048万円】

○ 学校保健感染症対策事業

幼・小・中・高等学校に対し、消毒液等の感染防止用物品等を購入

【7,275万円】

○ 新たな旅のスタイル促進事業《新》

コロナ禍における働き方の多様化を踏まえた仕事と休暇を組み合わせたブルジャーに対して宿泊費を助成

【350万円】

○ 産業支援交流センター機能拡充事業《拡》

感染症拡大防止の観点から、テレワークやWEB会議等を行う環境を確保するため、遮音性のあるフオンブースを設置

【277万円】

○ 中小企業販路拡大支援事業

中小企業における感染症対策と業務のデジタル化を支援するため、ECビジネス(電子商取引)の参入に要する各種経費を補助

【720万円】

○ 路線バスデジタル化推進事業《新》

感染症拡大防止の観点から、バス車内に乗降センサーを設置することにより、乗車人数を把握し、混雑状況を利用者に情報提供する

【2,584万円】

○ 新生活様式対応住宅リフォーム支援事業

市民の住環境の向上を図るため、自己の居住する住宅に対し、感染防止対策を含む改修経費の一部を助成

【2,014万円】

○ 福祉避難所運営体制強化事業

福祉避難所に、パーテーション等の資機材を整備

【200万円】

○ WITHコロナ事前避難促進事業

要配慮者及びその付き添いの方の事前避難にかかるホテル等宿泊費の一部を助成

【175万円】

○ 修学旅行キャンセル料等支援事業

感染症の影響により、予定していた修学旅行を中止又は延期し、キャンセル料が発生した場合の児童生徒の保護者を支援する

【300万円】

ほか

令和3年度3月補正予算

○ 子育て関連施設感染予防物品購入費

子どもの生活を守る観点から、児童館、学童保育クラブ、市立・私立保育所など各施設に対し、消毒液等の感染防止用物品を配布及び助成

【1億円】

○ 生涯福祉センター施設整備費

健康保養浴場の脱衣所に空気清浄機能付きの空調を整備

【1,061万円】

○ 指定管理者業務継続支援金

感染症の影響による予約の取消や利用者の減少、また感染拡大防止のための新たな経費負担が必要となった公の施設の支援

【2億2,245万円】

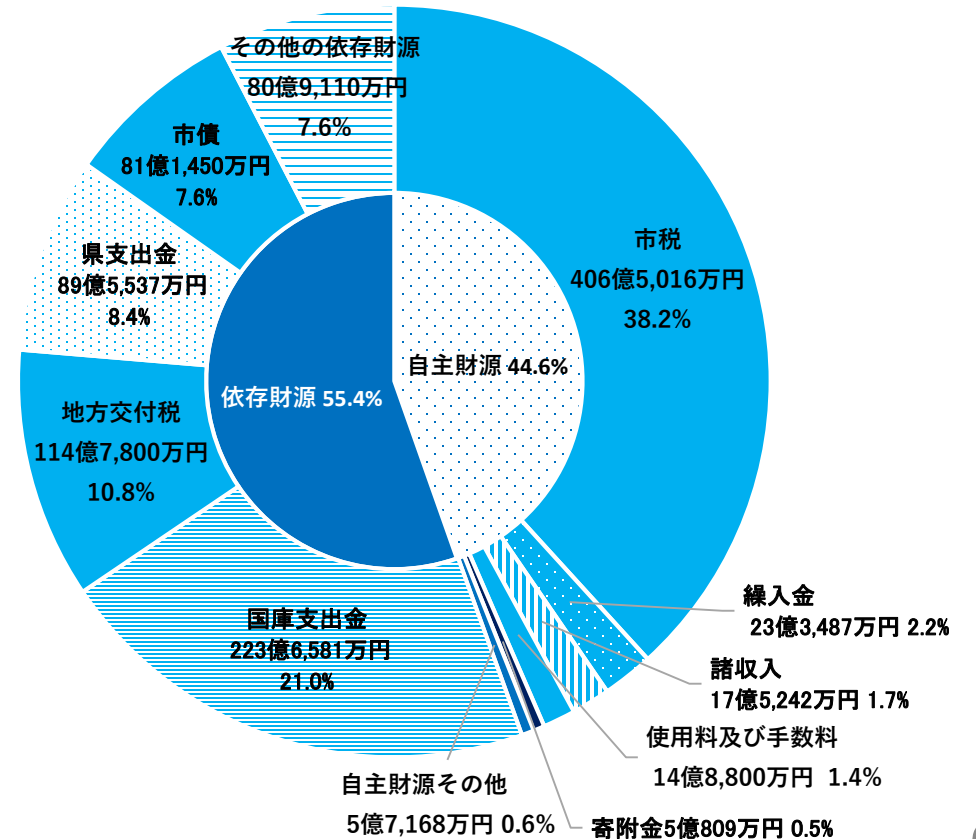


一般会計「歳入予算」の概要

- 市税……………感染症の影響が緩和され、景気の持ち直しが期待されることから、増加見込み（前年度比+3.1%）
- 地方交付税…国の交付総額及び過去の交付状況等を勘案し、増加見込み（前年度比+19.8%）
- 寄附金……………ふるさと応援寄附金の増加等により、増加見込み（前年度比+35.2%）
- 繰入金……………芸術文化施設建設基金の廃止により、増加見込み（前年度比+198.9%）
- 市債……………地方財政対策に伴う臨時財政対策債の減少等により、減少見込み（前年度比△28.9%）

■令和4年度 歳入(収入)の内訳

区 分		予算額	対前年度増減額	前年度比
自主財源	市税	406億5,016万円	12億2,238万円	3.1%
	繰入金	23億3,487万円	15億5,359万円	198.9%
	諸収入	17億5,242万円	▲6,725万円	▲3.7%
	使用料及び手数料	14億8,800万円	▲4,941万円	▲3.2%
	寄附金	5億809万円	1億3,219万円	35.2%
	その他	5億7,168万円	▲2,966万円	▲4.9%
依存財源	国庫支出金	223億6,581万円	6,955万円	0.3%
	地方交付税	114億7,800万円	19億円	19.8%
	県支出金	89億5,537万円	1億3,503万円	1.5%
	市債	81億1,450万円	▲32億9,340万円	▲28.9%
	その他	80億9,110万円	3億1,698万円	4.1%
合 計		1,063億1,000万円	18億9,000万円	1.8%



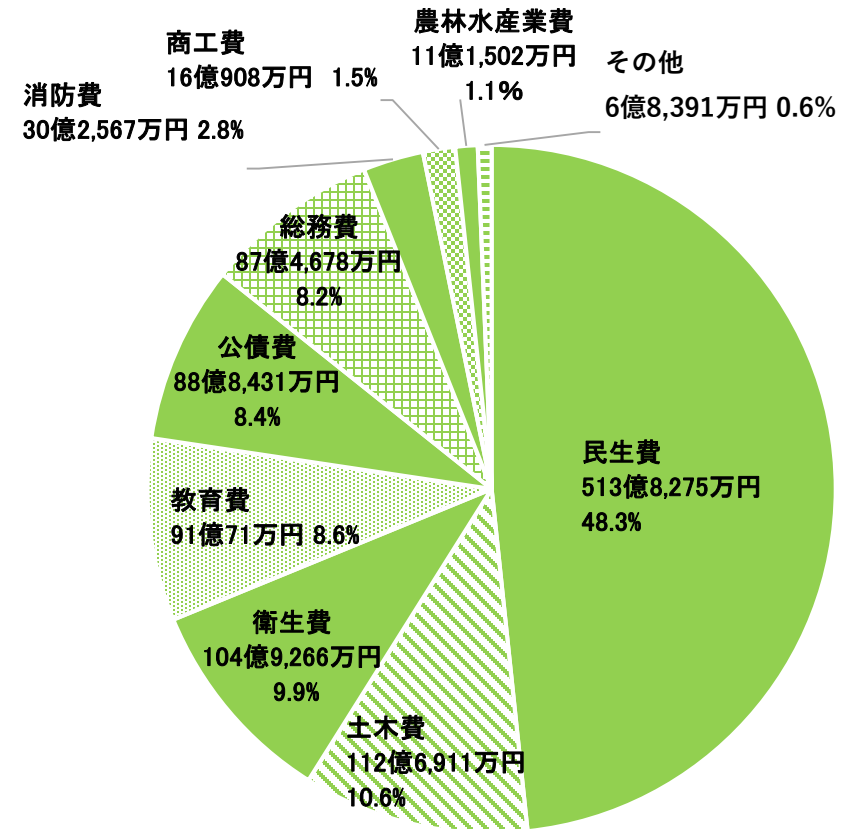


目的別に見る一般会計「歳出予算」の概要

- 民生費・・・障害福祉サービスにかかる給付費や、市民福祉基金および子ども未来基金への積立により、増加（前年度比+4.0%）
- 土木費・・・矢三西住宅建替事業や徳島都市開発株式会社貸付金の減少等により、減少（前年度比△9.7%）
- 衛生費・・・新型コロナウイルスワクチン接種事業の減少等により、減少（前年度比△3.3%）
- 教育費・・・小学校施設整備費やとくしま動物園リニューアル事業の実施等により、増加（前年度比+5.8%）
- 総務費・・・退職手当の増加や旧文化センター跡地整備事業の実施等により、増加（前年度比+10.8%）

■令和4年度 歳出(支出)の目的別内訳

区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
民生費	513億8,275万円	19億7,003万円	4.0%
土木費	112億6,911万円	▲12億701万円	▲9.7%
衛生費	104億9,266万円	▲3億6,087万円	▲3.3%
教育費	91億71万円	5億134万円	5.8%
公債費	88億8,431万円	1億886万円	1.2%
総務費	87億4,678万円	8億5,519万円	10.8%
消防費	30億2,567万円	▲1億6,007万円	▲5.0%
商工費	16億908万円	9,233万円	6.1%
農林水産業費	11億1,502万円	8,962万円	8.7%
その他	6億8,391万円	58万円	0.08%
合計	1,063億1,000万円	18億9,000万円	1.8%





目的別に見る 一般会計「歳出予算」の主な増減理由

総務費 87億4,678万円 前年度比+8.6億円(+10.8%)

【主な増減理由】

退職手当 +1.8億円、ふるさと応援寄附金事業+0.6億円、
旧文化センター跡地整備費+1.2億円、賦課徴収システム開発事業+0.9億円

衛生費 104億9,266万円 前年度比▲3.6億円(▲3.3%)

【主な増減理由】

小児等定期予防接種費+1.9億円、市民病院事業会計負担金及び補助金
▲1.5億円、新型コロナウイルスワクチン接種事業▲7.1億円

商工費 16億908万円 前年度比+0.9億円(+6.1%)

【主な増減理由】

コロナ危機突破プロジェクト創造支援事業+0.5億円

消防費 30億2,567万円 前年度比▲1.6億円(▲5.0%)

【主な増減理由】

消防ポンプ自動車等整備費+0.8億円、
高機能消防指令センター部分更新事業▲3.3億円

民生費 513億8,275万円 前年度比+19.7億円(+4.0%)

【主な増減理由】

障害福祉サービス給付費+7.0億円、市民福祉基金積立金+5.0億円、
子ども未来基金積立金+5.0億円、教育・保育給付費負担金+2.2億円

農林水産業費 11億1,502万円 前年度比+0.9億円(+8.7%)

【主な増減理由】

健やか新鮮ブランド産地づくり事業+1.3億円、
川内地区基盤整備促進事業費補助▲0.5億円

土木費 112億6,911万円 前年度比▲12.1億円(▲9.7%)

【主な増減理由】

公共下水道事業会計出資金+2.4億円、新町西地区市街地再開発事業+2.3億円、
徳島都市開発株式会社貸付金▲10億円、矢三西住宅建替事業▲4.4億円

教育費 91億71万円 前年度比+5.0億円(+5.8%)

【主な増減理由】

教育費退職手当▲0.4億円、小学校施設整備費+2.4億円、
学校保健感染症対策事業+0.7億円、とくしま動物園リニューアル事業+1.4億円

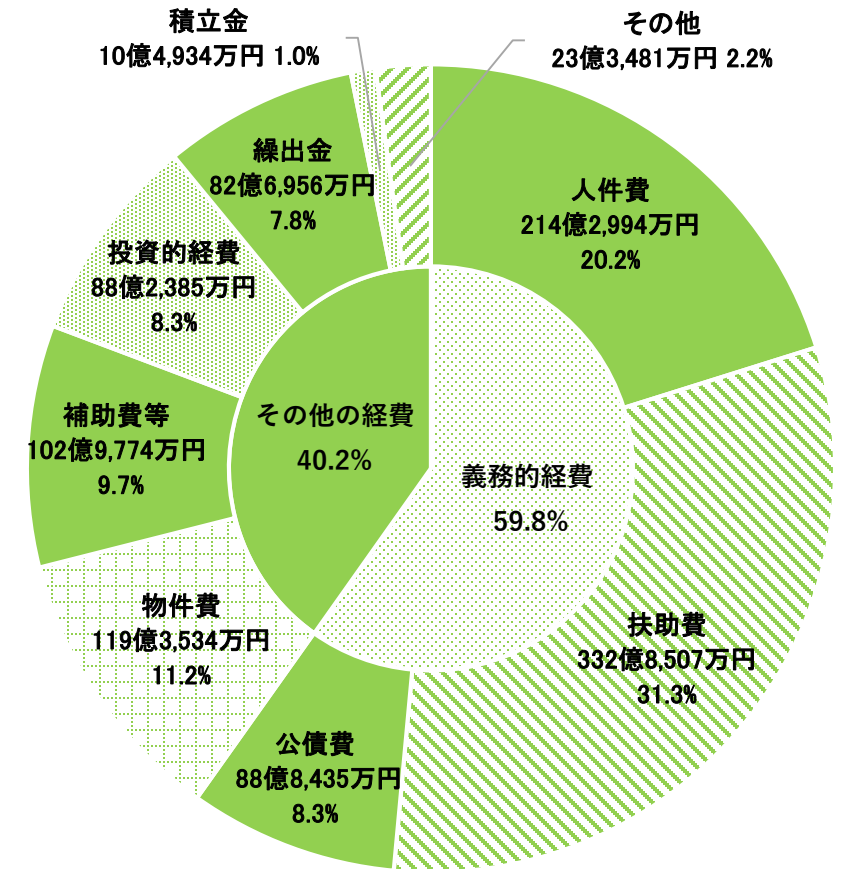


性質別に見る一般会計「歳出予算」の概要

- 義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は前年度に比べ1.8%増加。
 主な要因は、扶助費のうち障害福祉サービスにかかる給付費や認定こども園の運営費用の増によるもの。
- 投資的経費は前年度に比べ3.1%増加。主な要因は、小学校施設整備費等による事業費の増によるもの。
- 積立金は、市民福祉基金および子ども未来基金への積立により、前年度に比べ2,468.4%増加。
- 特別・企業会計に対する繰出金等は、前年度に比べ2.2億円（+1.8%）の増加。

令和4年度 歳出(支出)の性質別内訳

	区分	予算額	対前年度増減額	前年度比
義務的経費	人件費	214億2,994万円	1億8,524万円	0.9%
	扶助費	332億8,507万円	8億2,248万円	2.5%
	公債費	88億8,435万円	1億899万円	1.2%
	計	635億9,936万円	11億1,671万円	1.8%
投資的経費	普通建設事業	87億9,385万円	2億6,762万円	3.1%
	災害復旧事業	3,000万円	0万円	0%
	計	88億2,385万円	2億6,762万円	3.1%
	物件費	119億3,534万円	▲1億9,435万円	▲1.6%
	補助費等	102億9,774万円	2億1,040万円	2.1%
	繰出金	82億6,956万円	2億1,406万円	2.7%
	積立金	10億4,934万円	10億849万円	2,468.4%
	その他	23億3,481万円	▲7億3,293万円	▲23.9%
	合計	1,063億1,000万円	18億9,000万円	1.8%





行財政改革に向けた取組

「行財政改革推進プラン2021」の推進

感染症の影響等による社会環境の変化や、山積する政策課題等に柔軟かつ的確に対応するとともに、新たな総合計画に掲げる将来像を実現していくため、将来を見据えた健全な行財政基盤の確立に取り組むことが必要であることから、さらなる行政運営機能の強化や財政構造の改善に主眼を置いた、徳島市行財政改革推進プラン2021を令和3年3月に策定。

■ 令和4年度当初予算

□ 歳入の確保

市税等の徴収強化

市税徴収率 R3:97.4% ⇒ R4:97.6% (+0.2ポイント)

多様な財源確保

ふるさと応援寄附金の推進

R3:3億7,000万円 ⇒ R4:5億円(+1億3,000万円)

有利な地方債の活用(交付税措置50%以上の地方債)

R3:18億4,920万円 ⇒ R4:19億3,260万円(+8,340万円)

□ 歳出の抑制

徹底した内部努力

職員配置の適正化 R3:2,062人 ⇒ R4:2,046人 (△16人)

事業の精査・見直し

「部局別枠配分予算方式」による事業の最適化

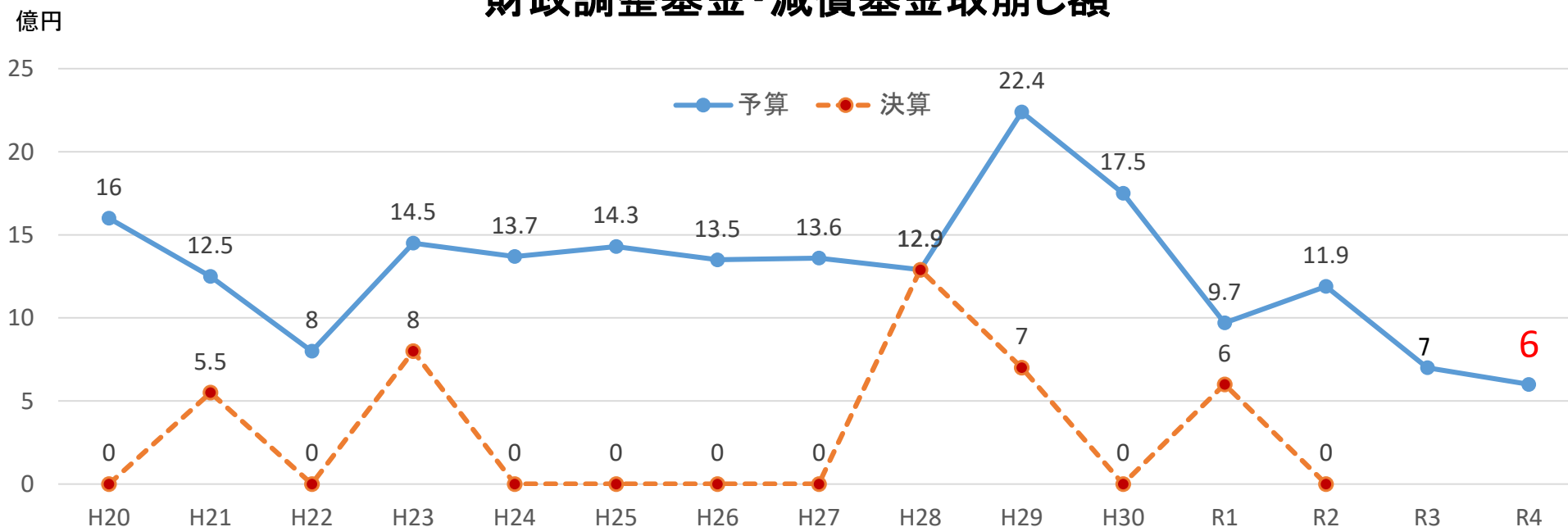


財政調整基金等の取崩し額の推移

財政調整基金等の取崩し額 **6.0 億円** (対前年度比 ▲1.0 億円)

財政調整基金・減債基金の取り崩し額は、対前年度比 1.0 億円の減少。
行財政改革推進プラン2021に掲げる取組みを実行し、平成元年以降最小額の取り崩し。

財政調整基金・減債基金取崩し額



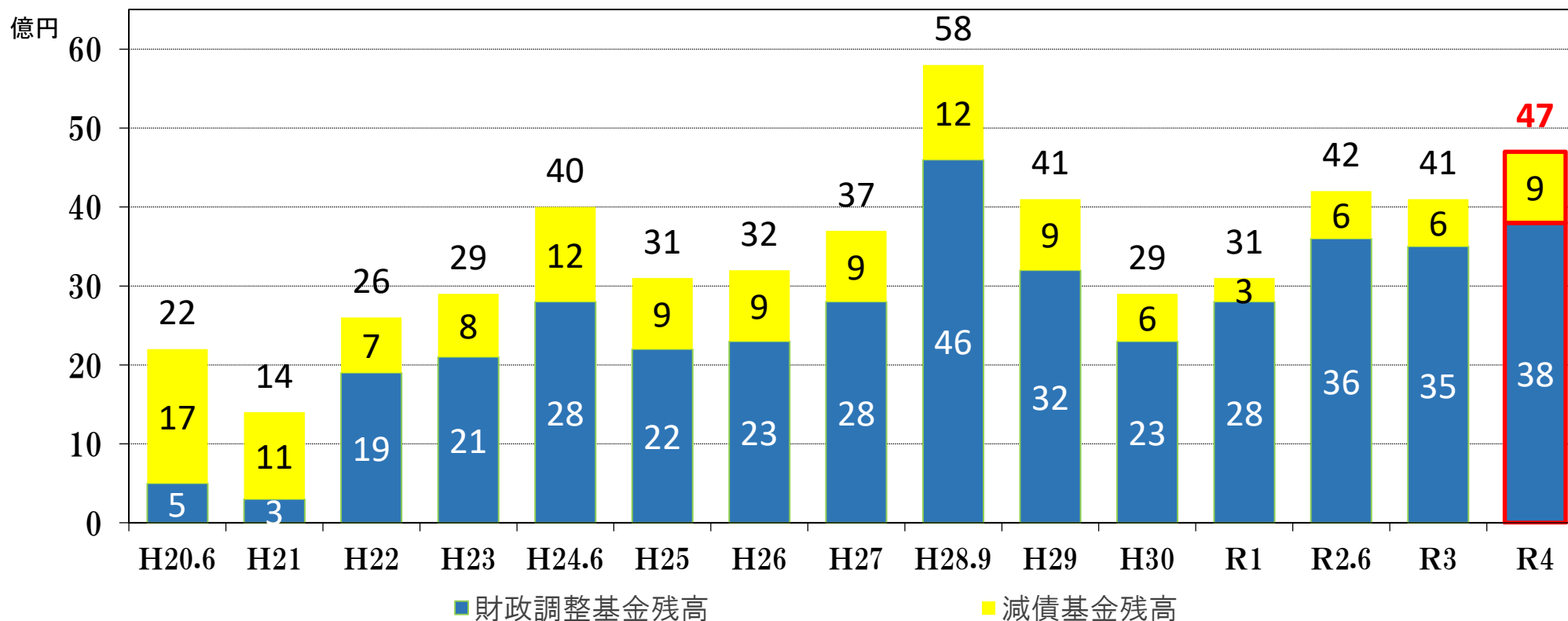
- 注1 「財政調整基金・減債基金取崩し額の予算額」は、当初予算時(市長選年は肉付予算時)の取崩し額
- 注2 「財政調整基金・減債基金残高」は、R2(肉付)予算 44.0億円、R3予算 41.0億円、R4予算 46.7億円



当初予算編成時における年度末基金残高の推移

財政調整基金等の年度末残高 **47 億円** (対前年度比 +6 億円)

当初予算編成時における年度末の財政調整基金および減債基金の残高は、対前年度比 6 億円の増加。



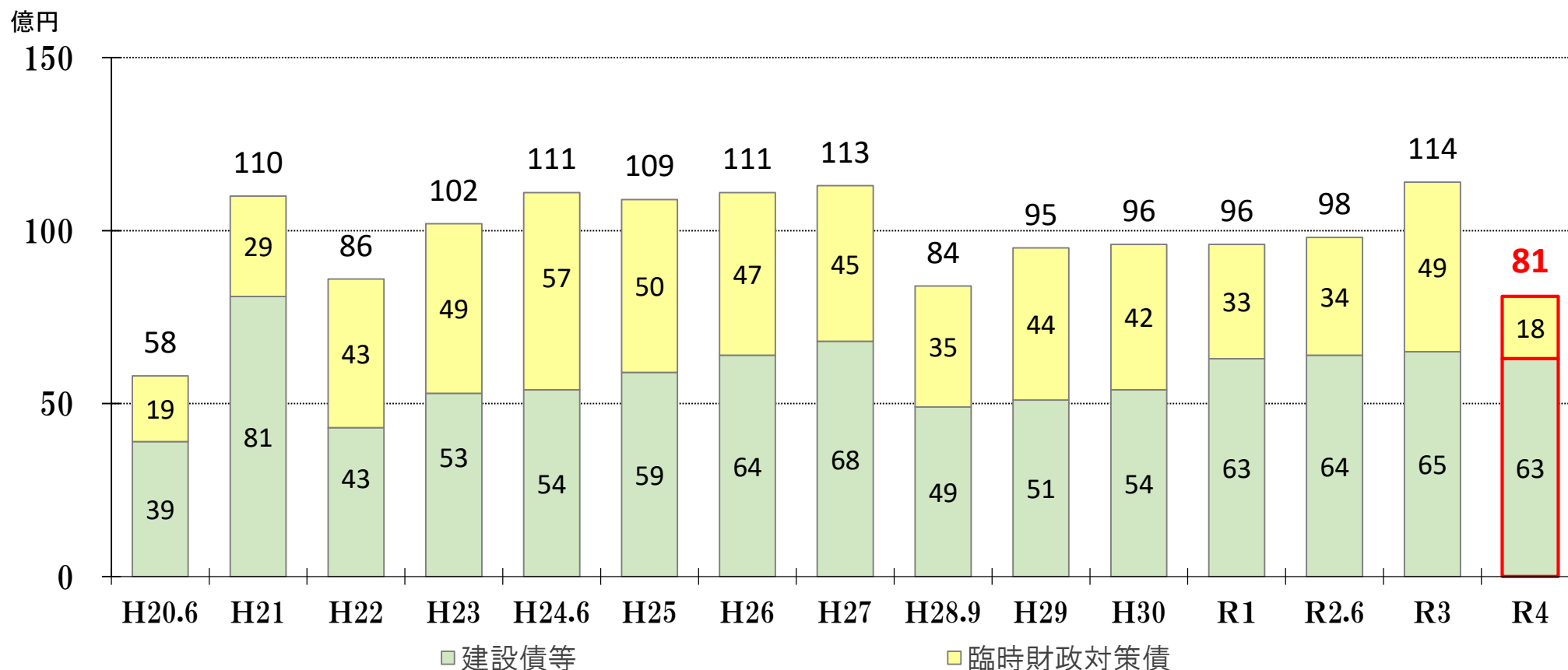
・注1 骨格予算の年度について、H20、H24、R2は、6月補正後、H28は9月補正後の年度末基金残高とし、前年度の決算剰余金積立は除く
 ・注2 R2は、新型コロナウイルス感染症対策関連予算として取り崩した財政調整基金は除く



当初予算編成時における地方債発行額の推移

地方債発行額 **81** 億円 (対前年度比 ▲33 億円)

臨時財政対策債の減少および建設債等の抑制により、対前年度比 33億円の減少。



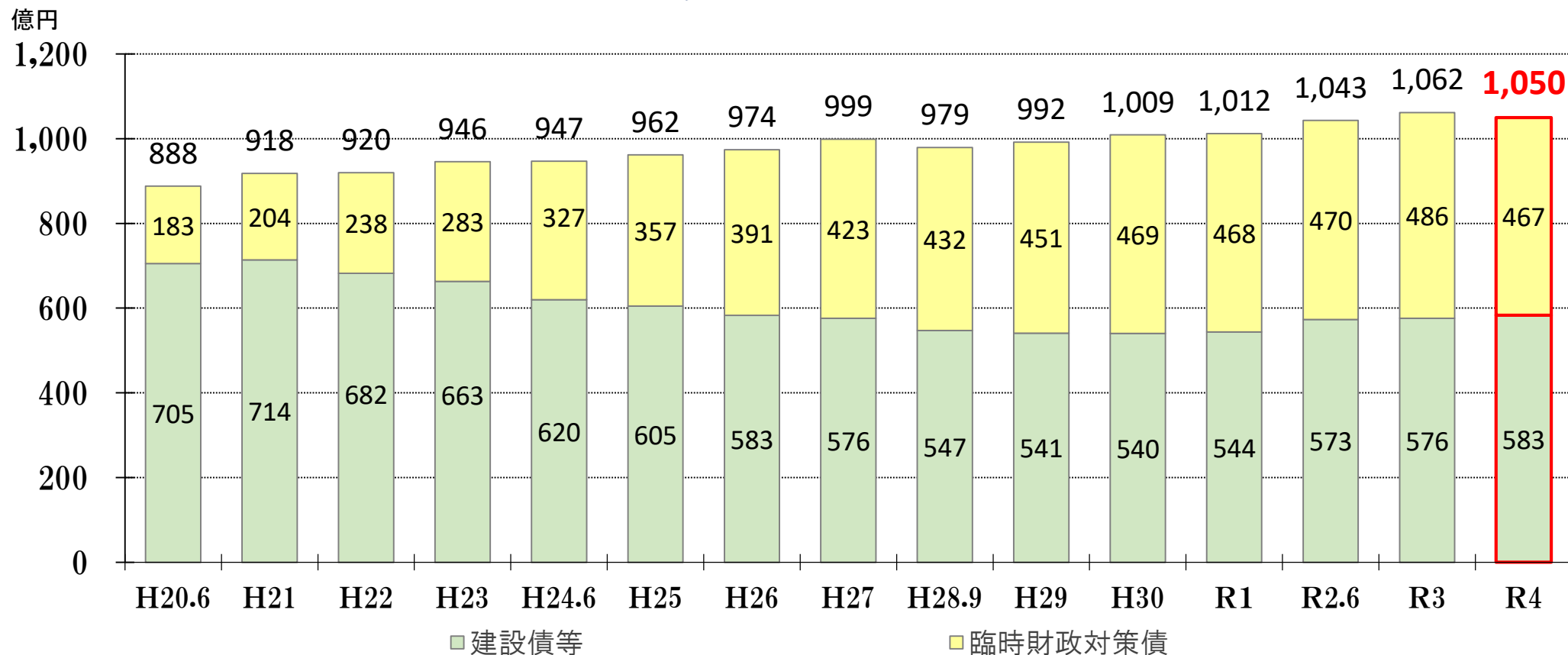
※臨時財政対策債：地方交付税の財源不足を補うもので、元利償還金は全額補てんされる。
 ※骨格予算の年度について、H20、H24、R2は、6月補正後、H28は9月補正後の地方債発行額



当初予算編成時における地方債年度末残高の推移

地方債の年度末残高 **1,050 億円** (対前年度比 ▲12 億円)

臨時財政対策債等の発行額の抑制により、対前年度比 12億円の減少。



※臨時財政対策債：地方交付税の財源不足を補うもので、元利償還金は全額補てんされる。
 ※骨格予算の年度について、H20、H24、R2は、6月補正後、H28は9月補正後の地方債発行額